



世界で使われる ロボット基盤モデルを、日本から

フィジカルAI

データ基盤

汎用AIロボット

(一社)AIロボット協会(AIRoA)

プロジェクト概要

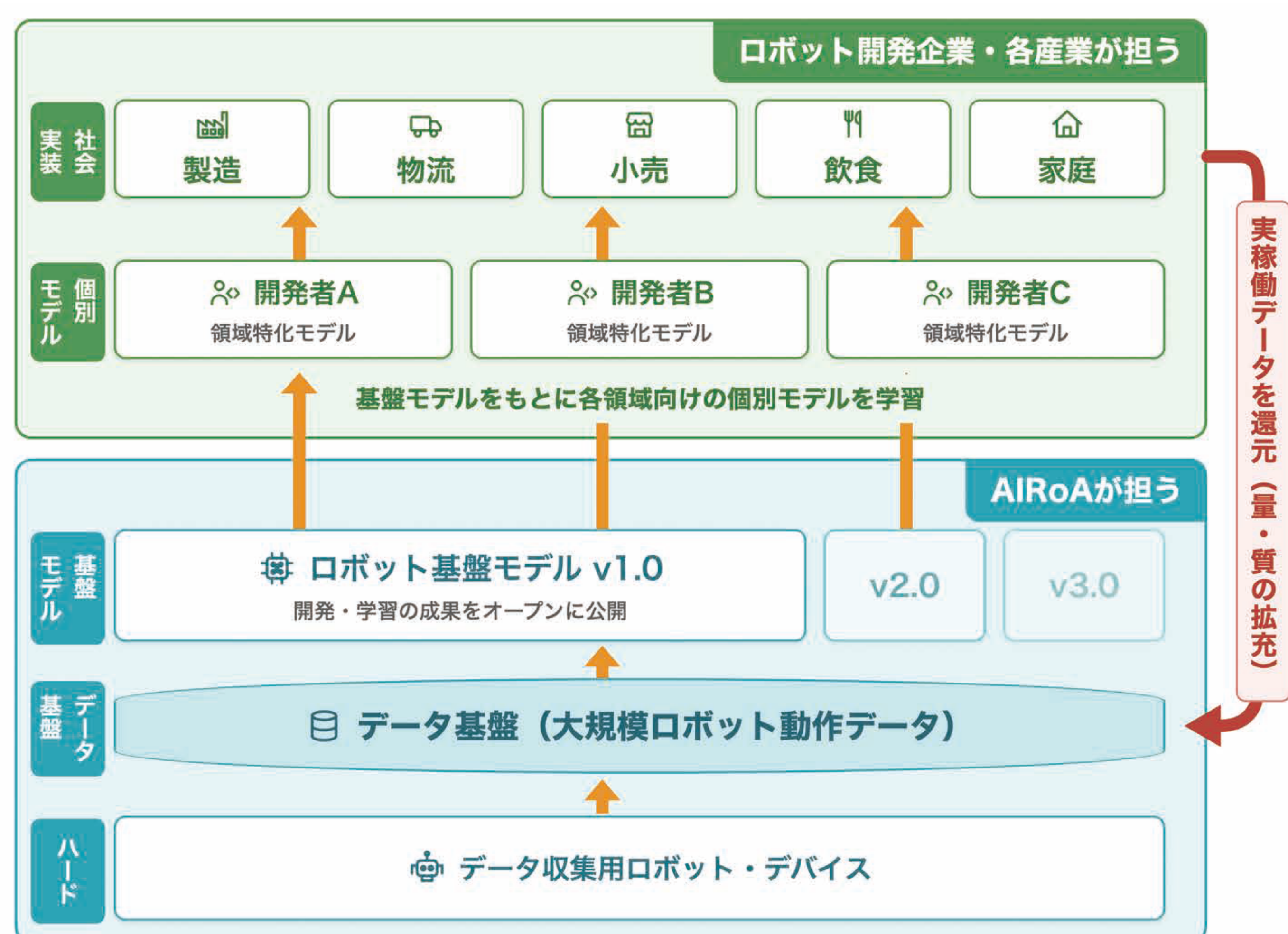
ロボット基盤モデルを開発・公開

- AIロボットの学習に必要な大規模なロボット動作データを収集し、ロボット基盤モデルを開発・公開する。

データエコシステムを構築

- データが集まる仕組みを構築し、ロボット基盤モデルを進化させ続ける仕組みを構築。

目指すデータエコシステム



双腕モバイルマニピュレータを用いた
ロボット動作データ収集

領域特化モデルの開発/実装、データ基盤への還元

競争領域としてAIロボット開発者が、**協調領域**であるデータ基盤と基盤モデルを活用して、各産業用にAIロボットを実装。ロボットの実稼働データが基盤モデルへとフィードバックされるような仕組みの構築を進める。

学習用データの収集とロボット基盤モデルの開発

協調領域としてAIRoAが、ロボット基盤モデルの学習に不可欠なロボットの実機による稼働データを収集。収集した学習データを用いロボット基盤モデルの開発・学習を行い、その成果を公開する。

AIRoAについて

AIRoAは、ロボットとAIの融合により、ロボット開発の技術を革新し、社会におけるロボットの活用を推進することを目的に2024年12月に設立された一般社団法人で、2026年9月時点で正会員30社、育成会員20社、賛助会員5社が所属。

世界で使用されるロボット基盤モデルを研究開発・公開し、実環境におけるロボット活用を促進するほか、AIロボットコミュニティの形成を目指し国内人材の強化や、次世代の育成および海外人材の誘致等をミッションとしている。

今後の展望

2027年ロボット基盤モデルv1.0を公開予定

- AIRoAはロボット基盤モデルの開発・公開を通じ、**ロボットが人々の暮らしを豊かにする社会**を目指す。



産業と生活のあらゆる分野で人とロボットが共生

プロジェクト実施期間

2025年度～2029年度

プロジェクト全体予算額

205億円

NEDOプロジェクト名

ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／
ロボティクス分野の生成AI基盤モデルの開発に向けたデータプラットフォームに係る開発

お問い合わせ先

一般社団法人AIロボット協会(AIRoA) 事務局
Email : communication@airoa.org

